

令和 8 年度
第 1 回能登川地区自治会長会
令和 8 年 4 月 25 日(土)

防災活動関係資料

一般社団法人能登川地区まちづくり協議会
安全・安心事業部

令和8年4月25日

自治会長 様
防災委員 様

ホップステップのどがわ
一般社団法人能登川地区まちづくり協議会
会長(代表理事) 藤居 正博
安全・安心事業部長 三輪 幸太郎
☎ 050-5802-2793

令和8年度「自主防災活動」に関するお願い

本日お集りの皆様におかれましては自治会長へのご就任、誠にご苦労様でございます。

私、今年度から安全・安心事業部長を預かります伊庭の三輪幸太郎でございます。精いっぱい務めて参りますので、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

ご高承の通り令和6年正月に発生した「能登半島地震」では、地盤の隆起・陥没、津波、液状化等の大惨事に加え、豪雨災害まで重なり、住民生活は大打撃を受けています。

この地震により「南海トラフ地震」の30年以内発生の確率は、70%から90%~60%に高められました。また、1944年と1946年に発生した昭和東南海地震から既に80年が経過しており、発災への不安が一層高まっています。

能登川地区では全ての自治会に「防災委員」を設けていただき、研修会をはじめ行動計画書、防災ヒヤリング等による情報交流を通じて、自治会と能登川地区全体の防災力アップに取り組んでおります。

今年も5月20日(水)の第1回防災研修会にて「南海トラフ地震」の被害想定がどれほどのもので、どのように備えればよいかを皆さんと一緒に具体的な活動目標を設け、一つづつ着実に取り組むたいと存じますので、自治会長様、防災委員様だけでなく、防災士や自治会で防災活動に関わっておられる方々にも是非ご一緒に参加していただけますようご協力をお願いいたします。

また、運用開始から4年目を迎える「行動計画書」は、「防災ヒヤリング」と併せて自治会とまち協が活動段階を共有し、次の一步を考える大切な資料になっています。今年も継続してご協力くださいますようお願いいたします。

なお、自治会長様に本日お渡しの防災関係資料一式を、防災委員様宛にも別封筒にてご用意しておりますので、お手数ですが防災委員様へお渡し願います。

(ただし、自治会長様が防災委員を兼務されている自治会は除いています。)

安全・安心事業部では自治会様からの防災に関するご相談を随時お受けしておりますので、いつでもお気軽にお声掛けください。

問合せ先:安全・安心事業部 ☎ 050-5802-2793

e-mail: notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

令和8年度 防災関係資料 一覧

① 「令和8年度 行動計画書」

- ・取組事項欄と活動目標欄への記入をお願いします。
- ・「行動計画書」活用案内資料をご参照いただき、5月15日(金)までに返信用封筒にてまち協宛ご返送下さい。
- ・実施事項欄と課題欄は秋にご記入願いますので空白のままにしておいてください。

② 「防災ヒヤリング」

- ・ヒヤリング内容: 「行動計画書」と自治会の防災活動についてお伺いします。
自治会長様と防災委員様でお願いします(30~40分程度)
- ・開催期間:5/21(木)~6/30(火)(日程は調整させていただきます)
- ・5月15日(金)までに「防災ヒヤリング日時連絡票」にヒヤリング可能日をご記入の上、「行動計画書」の返信用封筒に同封または、ファックス・eメール等にてご連絡ください。

③ 第1回 防災研修会

- ・ 5月20日(水) 19:30~21:00 コミセンホール
- ・ 対象: 自治会長・防災委員・防災関係者(2名以上になっても結構です。)
- ・ 内容: 自治会における災害への備え
 - ① 「南海トラフ地震」で能登川地区に想定される被害と対策
 - ② 「行動計画書」「防災ヒヤリング」の活用について※ 「東近江市防災マップ」をご持参ください。
- ・ 共催 能登川地区自治会連合会、(一社)能登川地区まちづくり協議会
- ・ 参加者連絡: 5月15日(金)までに、「防災研修会」参加票に参加者名をご記入の上「行動計画書」の返信用封筒に同封または、ファックス・eメール等にてご連絡ください。

④ 第2回 防災研修会 (DIG災害図上演習)

- ・ 6月17日(水) 19:30~21:00 やわらぎホール

⑤ 第3回 防災研修会 (HUG避難所運営ゲーム)

- ・ 7月~8月 学区ごとに小学校(体育館)にて開催

⑥ 「まち協防災出前講座」申込書

- ・ 開催日時: 自治会の都合の良い日時でお申し込みください。
(開催が重複する場合は調整させていただきます。)
- ・ 講習テーマ: 「できていますか地震への備え？」他

⑦ 参考チラシ 防災訓練

- ・ タオルで合図の安否確認訓練 (地震編 と 水害編)
- ・ 避難スイッチと警戒レベル

⑧ 防災フェスタ 2026(災害への備え)ふれあいフェア会場にて併催

- ・ 10月25日(日) 10:00~15:00 コミセンホール
~耐震シェルター・家具転倒防止・家庭備蓄用品展示他~

秋に、改めて
ご案内します

⑨ 第4回 防災研修会 (活動発表とワークショップ)

- ・ 11月18日(水) 19:30~21:00 コミセンホール

※ 資料①~⑦は、まちづくり協議会のホームページからダウンロードできます。

問合せ先:安全・安心事業部 ☎ 050-5802-2793

e-mail: notomatikyobosai@e-omi.ne.jp

令和8年4月25日

自治会長 様
防災委員 様

ホップ♪ステップ♪のとがわ
一般社団法人能登川地区まちづくり協議会
会長(代表理事) 藤居 正博

① 令和8年度「行動計画書」活用のお願い

「行動計画書」(別添 A3)は、令和4年度に策定された「東小学校区地区防災計画」に基づき令和5年度から運用を開始しています。

地域性を問わない防災活動の取組方針に基づいていますので、東小学校区だけでなく能登川地区全域での活用をお願いしています。

昨年度も40以上の自治会で活用していただき、自治会とまちづくり協議会で活動状況を共有する貴重な資料となっています。

春に、自治会長または防災委員に「活動目標欄」までをご記入いただき、まち協へお届けくださった「行動計画書」を基に、自治会へ「防災ヒヤリング」にお伺いします。

秋には、「行動計画書」をもう一度自治会へ送り、「実施事項欄」と「課題欄」をご記入いただいて、まち協へ返送を願っています。

この「行動計画書」から見えてきた共通の課題を、第4回防災研修会のテーマにして、みんなで「ワークショップ」をします。

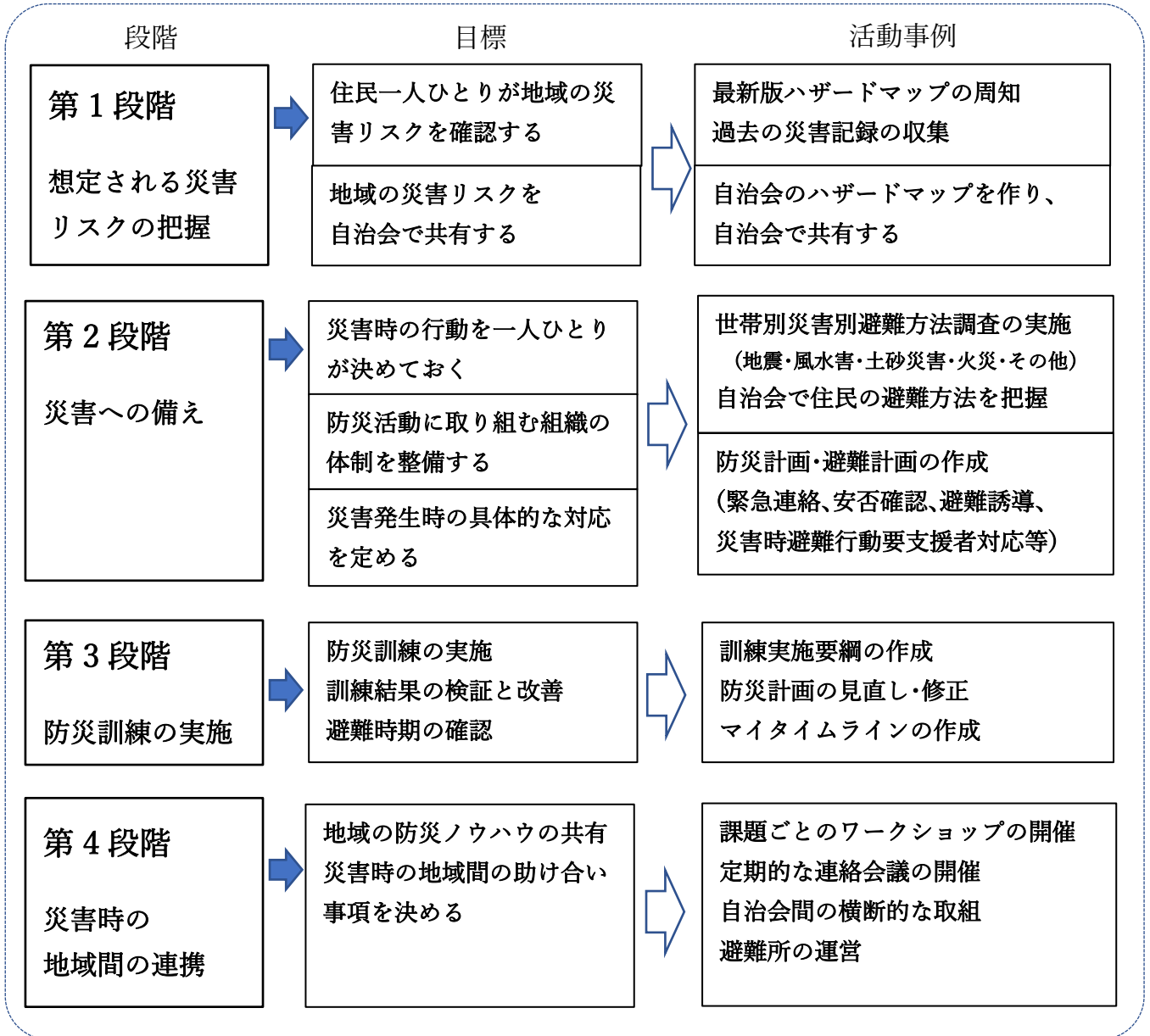
「行動計画書」と「防災ヒヤリング」によって、自治会ごとの活動状況や地域の課題が伺え、地域防災力向上に大いに寄与していると思われれますので、何卒ご協力くださいますようお願い申し上げます。

問合せ先:安全・安心事業部 ☎ 050-5802-2793
e-mail: notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

地域防災力の向上をめざした取組

1. 取組方針

能登川地区の地域防災力の向上をめざして、次の4つの取組段階を定め、それぞれを着実に実施していきましょう。



地 域 防 災 力 の 向 上

災害が発生したときに、地域の被害を少しでも減らせるように、普段から一人ひとりが災害時に想像を巡らし、それに備え、地域で助け合い、訓練を繰り返し、防災ノウハウを蓄積して、地域の防災力を高めておきましょう。

2 取組段階の基準

東学区地区防災計画より

各自治会の防災への取組状況を次の4段階に位置付けします。

第1段階 想定される災害リスクの把握

- ・東近江市ハザードマップが住民に周知されている。
- ・過去の被害事例、まち歩き等により地域の危険度が確認されている。
- ・地域の災害リスクを住民一人ひとりが把握し、それが自治会で共有されている（自治会のハザードマップの作成）。

第2段階 災害への備え

- ・災害発生時の一人ひとりの行動(世帯ごとの避難方法)が決まっている。
- ・防災活動に取り組む(災害に備える)組織が自治会で明確化されている。
- ・避難計画など災害発生時の対応が決められている。

第3段階 防災訓練の実施

【防災訓練の実施】

- ・防災訓練は実施計画を作成し実施された、または実施されている。

【防災訓練の検証及び改善】

- ・実施した防災訓練を検証し、防災計画等の見直しが行われている。
- ・各世帯を対象にマイタイムライン作りに取り組んでいる。

第4段階 災害時の地域間の連携

- ・地域の防災ノウハウが共有されている。
- ・災害時の地域間の助け合いが決められている。
- ・能登川東小学校を避難所とした東学区の合同防災訓練の実施が計画されている。

3 目標達成のための役割分担

各自治会およびまちづくり協議会が取組む事項を次の通りとします。

(1) 各自治会

ア 年度初頭

(ア) 取組段階への位置付け

- ・防災への取組状況が取組段階のどの位置にあるかを判断する。

(イ) 目標達成に向けた行動計画の決定

- ・課題への対応や今後の進め方を自治会で話し合い、当該年度の目標を定めた行動計画書を作成する。(次頁「4 行動計画書の作成」参照)

イ 行動計画の着実な実施

ウ 防災への取組の継承

- ・自治会の役員交代時に新旧役員で協議し、当該年度の実施事項および課題を確認する。

(2) まちづくり協議会

東学区地区防災計画より

ア 行動計画書の作成への相談・支援

イ 行動計画の進行管理

自治会と話し合い、目標達成に向け相談・支援

ウ 防災担当者(防災委員)への研修啓発

- ・ 課題解決に向けたワークショップ、防災意識を高めるための研修会等を開催し、自治会の防災担当者(防災委員)へ目標達成に向けた支援を行う。

4 行動計画書の作成

(1) 自治会が記載する事項（青色枠内）

【東学区地区防災計画に定める取組事項（以下「取組事項」という。）

- ・ 既に実施済みの事項、または実施中の事項については、「取組事項」欄に☑を入れる。

【取組段階】

- ・ 上記の作業を行った上で、各自治会の取組段階を判断する。
- ・ 必ずしも取組事項のすべてに☑が「入ることではなく、現在取り組んでいることが、どの段階にあるかで判断する。
- ・ 既に他の自治会との連携等を実施している、または計画している場合は第4段階とする。

【目標】

- ・ 取組事項に基づき自治会が目標とするものおよびそれ以外に自治会で取り組む事項を記載する。

【実施事項】

- ・ 目標に基づき実施した内容を記載する。

【課題】

- ・ 実施したことを検証し、出てきた問題点を整理し、記載する。

(2) まちづくり協議会が実施する事項

【事前フォロー】

- ・ 研修啓発、ヒヤリング等の相談・支援事業

【事後フォロー】

- ・ 課題等をまちづくり協議会へ報告いただき、課題解決に向けたワークショップ等の開催

「行動計画書」の年間スケジュールと記入方法

● 「行動計画書」活用の年間スケジュール

4/25	5/15	5/21~6/3	10/1	11/10	11/18	R9/1 月末
自治会長会 配布	まち協 回収	目標集計	自治会宛 再配布	まち協 回収	第4回研修 成果速報	自治会長会 返却
	目標記入	防災ヒヤリング		実施事項と 課題の記入	目標達成度・成果 共通課題等分析	

● 記入方法

春は、**桃色枠内**の「取組事項」と「目標」をご記入願います。

※、**秋には**、再送付した段階で、**青枠内**の「実施事項」と「課題」は記入していただきます。

春

春は取組事項と目標
を記入してください

令和8年度 行動計画書(自主防災力向上への取り組み)	自主防災力向上への取組事項 (4-5月記入)	活動目標 (4-5月記入)	実施事項 (10-11月記入)	課題 (10-11月記入)	取組段階
まちづくり協議会 (事前レビュー)	既に実施済または実施中の事項には○を。 今年の重点取組事項には◎を記入してください。	自治会が取組む目標を具体的に記入	目標に基づき、実施した事項を 具体的に記入	実施した結果、今後懸念される事項や 課題を記入	まちづくり協議会 (事後フォロー)
4月25日(土) 自治会長会 計画書(本紙)渡し 5月の研修会迄に 目標を記入	第1段階【地区の災害リスクを知る】 (□地震・□風水害・□土砂災害・□火災・□その他) ① 住民一人ひとりが、地区の災害リスクを知る □R3版東近江市ハザードマップで確認する。 ② 自治会が、地区の災害リスクを共有する □過去の災害記録を調べる □まち歩き等で、地区内の危険箇所を知る □自治会のハザードマップを作り、みんなで共有する				5月~11月 防災出前講座 ・要支援者支援 個別避難計画 ・家庭の備え ・自治会DIY マップづくり ・危険箇所点検 まち歩き
5月20日(水) 19:30~21:00 第1回防災研修会 自治会長・防災委員 ・地震対策 ・家屋耐震化 ・家具転倒防止 ・家庭で備蓄	第2段階【災害への備え】 ① 住民一人ひとりが、災害時の行動を決め、組織で共有 □マイトimelineの作成 □災害種別世帯別避難方法の把握と組織の役割の共有 (□地震・□風水害・□土砂災害・□火災・□その他) □地震対策の実施状況確認と取組優先度の共有 (□耐震化、□家具転倒防止、□非常用備蓄、□道具整備他) ② 自治会防災組織の整備・更新・補強 ③ 災害時の具体的な対応を定める(防災計画) □緊急連絡網、□安否確認、□救出救護、□避難誘導、 □災害時要配慮者支援、□初期消火、□炊き出し、 □備蓄(家庭備蓄・組織備蓄・什器備品)				10月25日(日) 防災フェスタ (ふれあいフェア)
5~6月 防災ヒヤリング □今年の活動 ・要支援者 個別避難計画 ・実施上の課題 ・支援の課題 ・その他 困りごと	第3段階【防災訓練の実施】 (□地震・□風水害・□土砂災害・□火災・□その他) ① 防災訓練を計画する □実施要綱の作成、□達成目標の設定 □訓練の準備(開催の周知、動員対策) ② 防災訓練を実施する ③ 実施結果を検証する □訓練結果の検証、□修正、□改善				10月~11月 計画書結果記入 ・実施結果 ・今後の課題
6月17日(水) 19:30~21:00 第2回防災研修会 DIY研修 (災害図上演習) 地震被害 7月11日(土) (福祉の会共催) 第3回防災研修会 ・要支援者支援 ・救出・救護	第4段階【災害時の地域間の連携】 ① 地域の防災ノウハウを共有する □課題ごとのワークショップの開催 □定期的な連絡会議の開催 ② 災害時の地域間の助け合い事項を定める □自治会間の横断的な取組 □避難所の運営				11月18日(水) 19:30~21:00 第4回防災研修会 活動報告と ワークショップ ・自治会活動事例 ・共通課題対策

秋

実施事項と課題は
秋に記入願いま

iii 実施事項

● 目標に基づき、実施した事項を
具体的に記入してください。

iv 課題




● 実施した結果、懸念される事項
や課題を記入してください。

ii 目標

● 取組事項に基づいて自治会が目標
とするもの。
● それ以外に自治会で取り組む事項
を記入してください。

i 段階ごとの基本的な取組事項

● 既に実施済み、または実施中の事
項は、「取組事項」の□欄に◎を記
入。
● 本年重点的な取り組みは、◎を記
入。

まちづくり協議会 (事前レビュー)	自主防災力向上への取組事項 (4-5月記入) 既に実施済または実施中の事項には☑を。 今年の重点取組事項には◎を記入してください。	活動目標 (4-5月記入) 自治会が取組む目標を具体的に記入	実施事項 (10-11月記入) 目標に基づき、実施した事項を 具体的に記入	課題 (10-11月記入) 実施した結果、今後懸念される事項や 課題を記入	まちづくり協議会 (事後フォロー)
<p>4月25日(土) 自治会長会 計画書(本紙)渡し 5月の研修会迄に 目標を記入</p> <p>5月20日(水) 19:30~21:00 第1回防災研修会 自治会長・防災委員 ・地震対策 ・家屋耐震化 ・家具転倒防止 ・家庭で備蓄</p> <p>5~6月 防災ヒヤリング □今年の活動 ・要支援者 個別避難計画 ・実施上の課題 ・支援の課題 ・その他 困りごと</p> <p>6月17日(水) 19:30~21:00 第2回防災研修会 DIG研修 (災害図上演習) 地震被害</p> <p>7~8月 第3回防災研修会 HUG演習 (避難所運営G) 学区ごとに開催 (小学校体育館)</p>	<p>第1段階【地区の災害リスクを知る】 (□地震・□風水害・□土砂災害・□火災・□その他) ①住民一人ひとりが、地区の災害リスクを知る □R3版東近江市ハザードマップで確認する。 ②自治会が、地区の災害リスクを共有する □過去の災害記録を調べる □まち歩き等で、地区内の危険箇所を知る □自治会のハザードマップを作り、みんなで共有する</p> <p>第2段階【災害への備え】 ①住民一人ひとりが、災害時の行動を決め、組織で共有 □マイタイムラインの作成 □災害種別世帯別避難方法の把握と組織の役割の共有 (□地震・□風水害・□土砂災害・□火災・□その他) □地震対策の実施状況確認と取組優先度の共有 (□耐震化、□家具転倒防止、□非常用備蓄、□道具整備他) ②自治会防災組織の整備・更新・補強 ③災害時の具体的な対応を定める(防災計画) □緊急連絡網、□安否確認、□救出救護、□避難誘導、 □災害時要配慮者支援、□初期消火、□炊き出し、 □備蓄(家庭備蓄・組織備蓄・什器備品)</p> <p>第3段階【防災訓練の実施】 (□地震・□風水害・□土砂災害・□火災・□その他) ①防災訓練を計画する □実施要綱の作成、□達成目標の設定 □訓練の準備(開催の周知、動員対策) ②防災訓練を実施する ③実施結果を検証する □訓練結果の検証、□修正、□改善</p> <p>第4段階【災害時の地域間の連携】 ①地域の防災ノウハウを共有する □課題ごとのワークショップの開催 □定期的な連絡会議の開催 ②災害時の地域間の助け合い事項を定める □自治会間の横断的な取組 □避難所の運営</p>				<p>5月~11月 防災出前講座 ・要支援者支援 個別避難計画 ・家庭の備え ・自治会DIG マップづくり ・危険箇所点検 まち歩き</p> <p>10月25日(日) 防災フェスタ (ふれあいフェア)</p>    <p>10月~11月 計画書結果記入 ・実施結果 ・今後の課題</p> <p>11月18日(水) 19:30~21:00 第4回防災研修会 活動報告と ワークショップ ・自治会活動事例 ・共通課題対策</p>

自治会長 様
 防災委員 様



② 「防災ヒヤリング」のお願い

本年度の「防災ヒヤリング」は、5月21日(木)～6月30日(火)の間でお願いします。
 内容は「行動計画書」と自治会の防災活動について、所要時間は30～40分の予定です。
 ついては下記の「防災ヒヤリング日時連絡票」をご記入いただき、「行動計画書」の返信用封筒に同封して5月15日(金)までに、まちづくり協議会へ返送願います。
 ヒヤリングは、できますれば自治会長様と防災委員様のお2人一緒でお願いします。
 なお、webでのヒヤリングもお受けしていますが、その場合はeメールアドレスが必要になりますので、下記連絡票にアドレスを記入願います。

.....切り取り線.....

防災ヒヤリング日時連絡票

- ・ 日程は5月21日(木)～6月30日(火)の間でお願いします。
- ・ 所用時間は30～40分程度を予定しています。

「行動計画書」と一緒に返信用封筒にて返送願います。
 5月15日(金)まで

自治会名:	役職 :おなまえ	連絡電話番号:
-------	----------	---------

優先 順位	時間帯 月 日	午前中			午後			夜間	備考
		9	10	11	14	15	16	19・・	
①	月 日								
②	月 日								
③	月 日								

eメールアドレス:webでのヒヤリングを希望される場合はアドレスを記入願います。

- ※ 午前・午後・夜間いずれかの時間帯に○印をwebの場合は{W}とご記入願います。
- ※ 日時は調整が済み次第、あらためて連絡先電話番号に連絡させていただきます。

自主防災活動に関するご意見・ご要望等(ありましたらご記入ください。)

問合せ先:安全・安心事業部 ☎ 050-5802-2793
 e-mail: notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

令和8年4月25日

自治会長 様
防災委員 様

東近江市能登川地区自治会連合会
一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

③ 令和8年度「第1回 防災研修会」開催のご案内

大地震の被災地では生活基盤が大きく変化してまいります。
被災地での安否確認・救出・救助・避難生活には地域住民の自主的な行動が不可欠です。
災害時に活動の中核を担われる自治会長様・防災委員様・防災関係者を対象に、下記のとおり防災研修会を開催しますので、是非ご出席をお願いします。

記

- 開催日時：令和7年5月20日(水) 19:30~21:00
- 会場：能登川コミセンホール
- 内容：自治会における災害への備え
「南海トラフ地震」で能登川地区に想定される被害と対策
安全・安心事業部長 防災士 三輪幸太郎
滋賀県地区防災計画策定アドバイザー、
「行動計画書」「防災ヒヤリング」の活用について
安全・安心事業部 防災士 今井陸之助
※「東近江市防災マップ」をご持参ください。
- 対象者：自治会長・防災委員・防災関係者・防災に関心のある方
- 参加方法：「第1回防災研修会」参加票にお名前・連絡用電話番号を記入の上
5/15(金)までに「行動計画書」返信用封筒に同封またはファックス・
eメール等にてご連絡願います。
- 共催：能登川地区自治会連合会、一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

問合せ先:安全・安心事業部 ☎ 050-5802-2793
e-mail: notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

令和8年度「第1回 防災研修会」参加票

令和8年 月 日

※ 5月15日(金)までに「行動計画書」の返信用封筒に同封またはファックス・eメール等にてご連絡願います。

自治会名	参加者名	当日連絡可能な電話番号
連絡用メールアドレス:		

まちづくり協議会 FAX 0748-42-1556
eメール notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

令和8年4月25日

自治会長 様
防災委員 様

東近江市能登川地区自治会連合会
一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

④ 令和8年度「第2回防災研修会(DIG 災害図上演習)」開催のご案内

DIG(ディグ)の目的は災害を理解し、防災意識を掘り起こし、防災力を高めることです。今回は、南海トラフ大地震で想定される被害を避けるため、地域の弱点を炙り出します。ついては、下記のとおりDIGを実施しますので、災害時に活動の中核となられる方々(自治会長、防災委員、防災関係者等)の参加をお願いいたします。

記

- ・ 開催 日時： 令和8年6月17日(水) 19:30~21:00
- ・ 会 場： やわらぎホール
- ・ 対 象： 自治会長・防災委員・防災関係者(防災活動に関わっておられる方)
- ・ 内 容： DIG(災害図上演習)

能登川地区並びに自治会区域の災害リスク(危険箇所)を大判の白地図に書き込み、危険回避の方策を検討します。

※「東近江市防災マップ」をご持参ください。

- ・ 参加方法：「第2回防災研修会」参加票に参加者名・当日連絡可能電話番号を記入の上、6月12日(金)までに、ファックス・eメール等にてご連絡願います。
- ・ 共 催：能登川地区自治会連合会、一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

問合せ先:安全・安心事業部 ☎ 050-5802-2793
e-mail: notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

令和8年度「第2回 防災研修会 DIG 6/17(水)」参加票 令和8年 月 日
※ 6月12日(金)までにまちづくり協議会宛にファックス・eメール等にてお届け下さい。

自治会名	参加者名	当日連絡可能な電話番号

連絡用メールアドレス:

まちづくり協議会 FAX 0748-42-1556
eメール notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

令和8年4月25日

自治会長様
防災委員様

東近江市能登川地区自治会連合会
一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

⑤令和8年度「第3回防災研修会HUG(避難所運営)講習のご案内

HUG(ハグ)の目的は避難所の運営方法をゲーム形式で疑似体験することです。

今回は学区ごとに、災害時には避難所になると想定される小学校の体育館に集合して、地震時の避難所運営の基本的なポイントをゲームを通じて学びます。

ついては、災害時に活動の中枢となられる方々(自治会長、防災委員、防災関係者等)の参加をお願いいたします。

記

- 開催日時: 令和8年7月～8月
- 会場: 各小学校ごとに、都合のよい日時で開催
- 対象: 自治会長・防災委員・防災関係者(防災活動に関わっておられる方)
- 内容: HUG(避難所運営ゲーム)
地震時の避難状況をカードとシートを使ってシミュレーションし、避難所での避難者受け入れのポイントを学びます。
※「東近江市防災マップ」をご持参ください。

- 参加方法: 「第3回防災研修会」参加票に学区(東西南北)と必要事項を記入の上、開催日の1週間前までに、ファックス・eメール等にてご連絡願います。

4、共催: 能登川地区自治会連合会、一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

問合せ先:安全・安心事業部 ☎ 050-5802-2793
e-mail: notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

令和8年度「第3回 防災研修会 HUG」参加票

令和8年 月 日

学区名() 開催日時: 月 日() 時から

自治会名	参加者名	当日連絡可能な電話番号

連絡用メールアドレス:

まちづくり協議会 FAX 0748-42-1556

eメール notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

令和8年4月25日

自治会長 様
防災委員 様

ホップ♪ステップ♪のとがわ

一般社団法人能登川地区まちづくり協議会

会長(代表理事) 藤居 正博

安全・安心事業部長 三輪 幸太郎

☎ 050-5802-2793

⑥ 令和8年度「まち協防災出前講座」活用のご案内

まちづくり協議会では、「まち協防災出前講座」を承っています。

お申込みは、本用紙に記入の上、ファックス・eメール等にてご連絡願います。

まち協防災出前講座利用申込書

記入日:令和 年 月 日

自治会名:	担当者:	連絡☎	
自治会長:	e-mail:		
会場:	参加人数(想定):		
講座内容	所要時間	開催希望日	希望時間帯
イ) 「日ごろからの心がけ」 ◆ できていますか 地震への備え ・どんな揺れ? ・どんな被害? ・何をしておけば?	いずれも 1時間	① 月 日()	~
		② 月 日()	~
ロ) その他(ご要望のテーマ等) ◆ 自主防災組織体制 ◆ 災害への備え ・風水害 ・土砂災害 ・火災 ◆ 福祉防災の進め方 ・要支援者個別避難計画 ・個人情報管理			

※ 日程・講座内容等は、なるべくご希望に沿えるよう、ご相談させていただきます。

問合せ先:安全・安心事業部 ☎ 050-5802-2793

e-mail: notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp

まちづくり協議会 FAX 0748-42-1556

eメール notomatikyo.bosai@e-omi.ne.jp